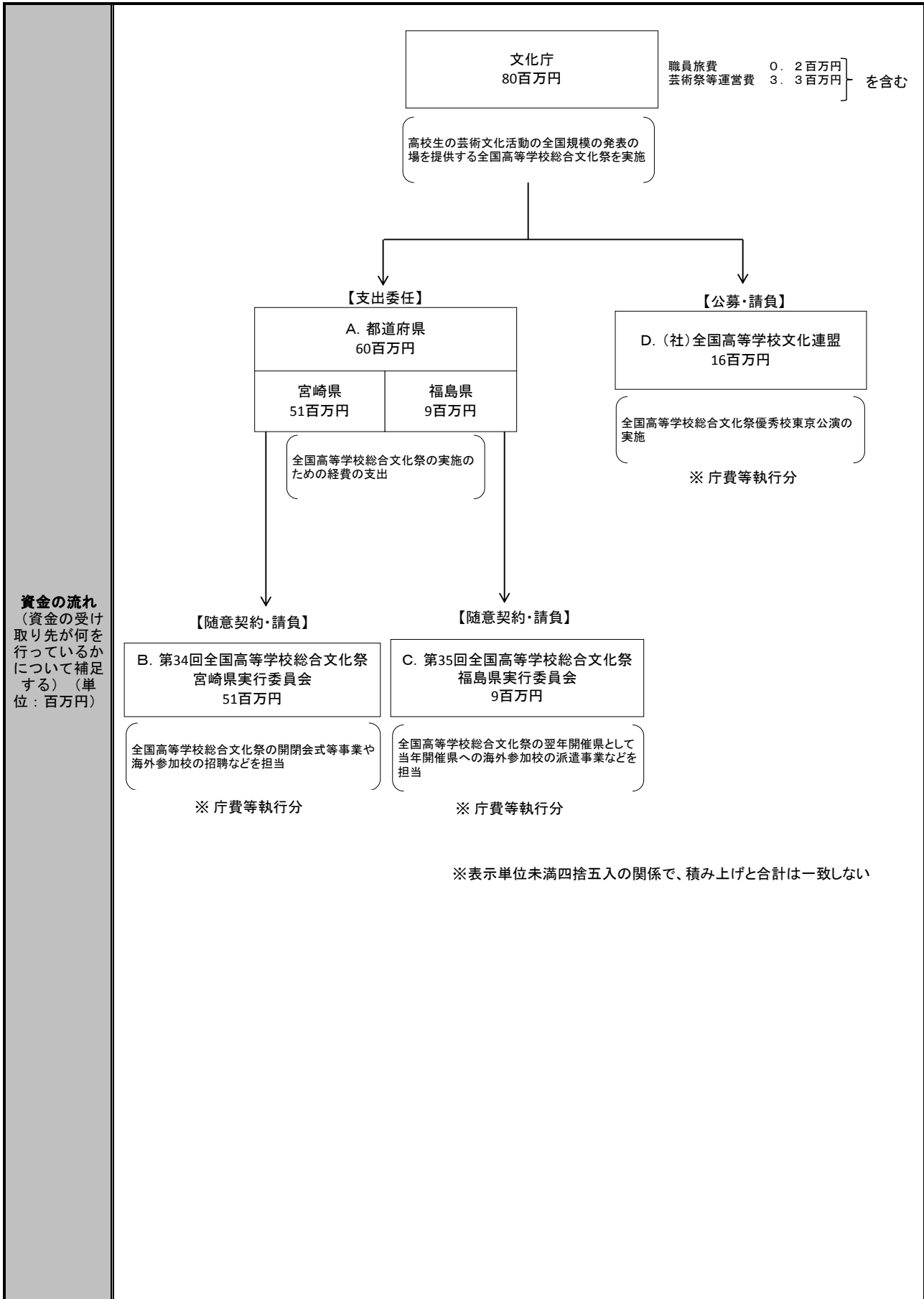


平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	全国高等学校総合文化祭		担当部局庁	文化庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和52年度		担当課室	芸術文化課		芸術文化課長 山崎 秀保			
会計区分	一般会計		施策名	X II - 1 芸術文化の振興					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法8条、12条、24条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国都道府県代表の高等学校の生徒による芸術文化活動の発表会を総合的に開催し、創造活動の向上を図るとともに相互の交流を深めることにより、芸術文化の振興に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高校生の文化芸術活動の、全国規模の発表の場を提供する、全国高等学校総合文化祭を実施。開催内定後、生徒を中心とした実行委員会を設置し、2年の準備期間を経て、開催年度を迎える。また、文化祭で選出された優秀校による、全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演を国立劇場にて開催。文化系部活動の「インターハイ」、「甲子園」として多くの生徒の目標となっている。22年度の文化祭は宮崎県にて開催(8/3~7)。現在第40回大会(28年度)まで、開催県の内定をしているところである。また、優秀校東京公演は8/27・28の日程で開催される。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		当初予算	53	76	77	77	77		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	△1	1			
	計	53	76	76	78	77			
	執行額	83	81	80					
執行率(%)	156.6%	106.6%	103.9%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(35年度)		
	全都道府県での開催。			32	33	34	47		
	達成度		%	68.1	70.2	72.3			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込		
	開催年度ごとの参加校数の実績数			3,114	3,048	2,872	—		
算出根拠		参加校1校あたりコスト = 3ヶ年度執行額 / 3ヶ年度参加校数							
平成23・24年度予算内訳	単位当たりコスト	(27,009円/参加校数)							
	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	0.2	0.2						
	芸術祭等運営費	77	77						
	計	77	77	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>文化部活動を行う高校生にとっては「文化部のインターハイ」として、大きな目標として認知されており、学校における文化部活動を活性化する効果を挙げている。開催県では多くの生徒を含む実行委員会が組織され、運営面に生徒が参加することによる効果も期待することができる。今後も、より効果的に事業を行えるよう、一層の事業の充実を図るものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、高校生の芸術文化活動の全国規模の発表の場を提供する全国高等学校総合文化祭を実施するものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は平成27年度まで開催県が決まっている事情に鑑み、当面は、現在の事業内容を引き続き維持することとするが、昭和52年度から実施していることや昨年6月の公開プロセスにおいてイベント的な事業に対し厳しい指摘がなされていることを踏まえ、今後、必要性について精査を行った上で、廃止を含めた抜本的な見直しを検討すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 宮崎県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	全国高等学校総合文化祭の実施のための経費	51			
計		51	計		0
B. 第34回全国高等学校総合文化祭宮崎県実行委員会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	指導者派遣、海外参加校招聘旅費	22			
役務	開会式、パレード会場設営費、その他	21			
借損料	観覧者等輸送バス経費	2			
諸謝金	通訳謝金	2			
広報経費	大会広報新聞制作費等	1			
その他	口蹄疫防疫対策経費	3			
計		51	計		0
C. 第35回全国高等学校総合文化祭福島県実行委員会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	海外参加校招聘に係る経費	5			
広報経費	広報活動に係る経費	4			
計		9	計		0
D. (社)全国高等学校文化連盟			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	出演者の交通費、宿泊費等	6			
借損料	会場、練習室借料等	5			
役務	舞台設営、会場整理等	4			
通信運搬費	大道具、楽器等運搬費等	1			
計		16	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮崎県	全国高等学校総合文化祭(宮崎県)の実施	51	—	—
2	福島県	全国高等学校総合文化祭(福島県)の実施	9	—	—

※支出委任であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第34回全国高等学校総合文化祭宮崎県実行委員会	開会式・パレード会場設営等経費、派遣・招聘旅費、口蹄疫防疫対策経費	51	随意契約	100%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第35回全国高等学校総合文化祭福島県実行委員会	開催広報グッズ作製、国際交流事業招聘経費	9	随意契約	100%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)全国高等学校文化連盟	優秀校東京公演運営経費	16	企画競争	100%